

# 平成 30 年度 狛江市立学校第三者評価委員会 報告書 概要版

### 1 狛江市立学校第三者評価委員会委員

**【委員】**  
 委員長 帝京大学大学院 教授 坂本 和良  
 委員 調布狛江地区更生保護女性会会長 愛甲 悦子  
 委員 元八王子市教育委員会教育委員 大橋 明  
 委員 元読売ジャイアンツ監督 堀内 恒夫

**【事務局】**  
 狛江市教育委員会教育部理事兼指導室長 柏原 聖子  
 狛江市教育委員会教育部指導室統括指導主事 小坂 力

### 2 第三者評価実施概要

- ◆ 平成 24 年度までは全小中学校を毎年評価対象校としていたが、平成 25 年度から全校を中学校区によって 2 グループに分け、5 校ずつを隔年で評価することにより、短期的な評価に加え、2 年間のスパンで中期的な評価を実施することとした。
- ◆ 評価を焦点化するために、「学力向上の視点」「特色ある教育活動の視点」からそれぞれ評価の観点を学校ごとに決定し、その観点到って重点的に評価を進めた。
- ◆ 評価委員による学校訪問を年 2 回実施し、1 回目に評価の観点における各校の課題の確認、2 回目にその課題に対する取組状況や改善内容を確認することで、より学校の実態に沿った評価を推進した。

### 3 平成 30 年度評価対象校及び評価の観点

| 学校名     | 評価の観点①<br>学力向上の視点                | 評価の観点②<br>特色ある教育活動の視点             |
|---------|----------------------------------|-----------------------------------|
| 狛江第三小学校 | 「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業の工夫          | 豊かな国際感覚の育成                        |
| 狛江第六小学校 | 新学習指導要領移行期における指導の充実              | アクティブライフ実践校としての体力向上               |
| 和泉小学校   | 思考力を高める授業展開                      | 開かれた教育活動<br>-外国語活動・外国語科を通して-      |
| 狛江第二中学校 | 「学ぶ楽しさを実感できる授業」を通じた自主的・自発的な生徒の育成 | 学年合唱を通じた良好な学年集団の形成と自主性・協調性・責任感の育成 |
| 狛江第三中学校 | 思考力を高めるための授業の工夫                  | 歌声の響く学校づくりによる豊かな心の育成              |

### 4 狛江市立学校第三者評価委員会の経過

(1) **事務局によるヒアリングと評価の観点の決定**  
平成 30 年 6 月 会場：各学校

(2) **第 1 回学校訪問**  
平成 30 年 6 月 25 日（月）～平成 30 年 7 月 13 日（金） 会場：各学校

(3) **第 2 回学校訪問**  
平成 31 年 1 月 11 日（金）～平成 31 年 1 月 25 日（金） 会場：各学校

(4) **第 3 回まとめ**  
平成 31 年 3 月 6 日（水） 会場：市役所

### 5 総括

(1) **学校評価を生かした学校経営**

ア 主な意見  
校長の経営方針が各教員に理解され、一丸となって教育活動に取り組んでおり、前年度の学校評価を詳細に分析し、様々な取組を行うことで、保護者や地域の方々から学校に対する信頼を高めていることが分かった。

イ 総括  
概ね校長がリーダーシップを発揮し、魅力ある学校づくりを推進し、学校全体を一つの方向へ導いている。一方で取組が過多になっていたり、新学習指導要領の実施に向けた学習の在り方について、教員間での共通理解が十分でないという課題が見られたりすることがあるため、改善を図る必要がある。

(2) **学力向上**

ア 主な意見  
児童・生徒が活発に発言し、積極的に授業に参加している様子が見られた。落ち着いた授業が継続され、グループ討議でも全員の発言があり今後の授業にも期待できる。

イ 総括  
概ね児童・生徒は主体的に落ち着いて学習に取り組んでいる。また、習熟度別学習の充実が図られ、それぞれの課題に応じた指導が行われている。一方で活動が目的となっていたり、旧態依然の授業が行われたりする場面も見られ、求められる学力を育むための授業改善の継続が必要である。

(3) **人材育成**

ア 主な意見  
管理職が教員の中に入り、こまめに指導・助言していることがよく分かった。教育目標をより具体的な児童・生徒の姿、資質・能力として明確にできるとよい。

イ 総括  
多くの学校で管理職による直接の指導や OJT の推進等、様々な工夫をしながら人材育成を図っている。しかし、児童・生徒に求められる資質・能力を育むための指導力にはばらつきがあり、全ての学校での大きな課題となっている。今後は校長がリーダーシップを発揮し、育てたい児童・生徒の姿を明確にし、そのために必要な教員一人一人の力量を高めていく研修の在り方について、見直していく必要がある。

(4) **教育委員会の支援**  
学習指導要領に基づく指導の在り方について、学校への指導を徹底するとともに教員の指導力向上のための研修を充実させる。また、環境面や情報発信の充実を図る必要がある。

### 6 各学校における主な評価

|           |  |
|-----------|--|
| 【狛江第三小学校】 | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 学校経営計画が具体的に立案されている。方策に対しての評価についても数値目標が示されており、振り返りと改善がしやすいと考える。</li> <li>◆ 参観した授業では、どの教室も児童が伸び伸びと積極的に発言しているのに驚いた。児童の活発な発言にも耳を傾け取り組んでいた。今後さらなる取組に期待する。</li> <li>◆ 外国語活動は英語に親しめる内容が展開されていた。今後も児童の学習意欲が増す指導に期待する。</li> </ul>  |
| 【狛江第六小学校】 | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 経営方針は、教員とのチームワークで取り組めるよう、方策を具体的に示しているため、教員にも徹底しやすいようである。地域の協力も得られている様子がよく分かった。</li> <li>◆ しっかりと意見が話せる児童が多く、教員が言葉を上手く引き出せていたと思う。「美しいもの」を見て「素敵だ」と思う気持ちが大切である。</li> <li>◆ 運動・保健・食育の 3 本柱での取組は総合的な体力向上につながるものであることが理解できた。</li> </ul>  |
| 【和泉小学校】   | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 校長の経営方針が、学校要覧でも分かりやすく説明してある。</li> <li>◆ 問題解決型の授業が行われ、習熟が進んでいるクラスでは思考の深まりが見られた。また、習熟が遅れがちなクラスでは、児童の思考を助ける手だてが取られていた。</li> <li>◆ 担任が自信をもって授業をし、児童が楽しそうに取り組んでいる様子を見られてよかった。英語を使って会話することに皆慣れているようで、外国語活動のねらいは達成されている。</li> </ul>  |
| 【狛江第二中学校】 | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 知・徳・体のバランスを考えた経営方針となっていて、安定した教育活動ができていることがよく分かった。</li> <li>◆ 授業を受けている生徒の雰囲気がとてもよい。教員と生徒の信頼関係が成立していることがよく分かった。</li> <li>◆ 生徒が実に楽しそうに学んでいた。また、英語のスピーチでも声がしっかり出ていた。これも合唱での経験がベースになっているなら、学年合唱が本校の教育活動のベースになっている意味がよく理解できた。</li> </ul>  |
| 【狛江第三中学校】 | <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 校長が目指す学校像、生徒像をより具体的に示すと、各主任の捉えがさらに具体的に深まると感じた。全体的にバランスがとれており、ゆとりまで感じた。</li> <li>◆ 生徒が教員の方を向き、皆が話に集中している授業を見たが、教員の話術が優れているだけでなく、教材研究に基づく授業づくりができていた。</li> <li>◆ 合唱の他に特色ある教育活動として、他の取組にも力点が置かれている。学校の入口には、大きな銀杏の木があり、その銀杏を利用して被災地への義援金にするなど社会貢献にも取り組んでいる。こうした奉仕活動は大変意義がある。</li> </ul> |